

科目分類	助産学実践科目 実践・関連		開講時期	1年 前期	
授業科目	周産期の診断と技術Ⅲ（産褥・新生児期）				
選択／必修	必修	単位数（時間数）	1単位	30時間	授業形態 講義
担当教員	木下 珠希 ・ 窪田 裕子 ・ 田中 真穂				
メールアドレス	t-kinoshita@tsuruga-nu.ac.jp(木下) y-kubota@tsuruga-nu.ac.jp(窪田) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中)	オフィスアワー	随時相談に応じます。 事前にメール連絡してください		

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 褥婦と新生児、その家族への助産過程に必要な知識について説明できる。</li> <li>2) 褥婦と新生児、その家族への助産過程に必要な情報項目について説明できる。</li> <li>3) 褥婦と新生児、その家族への助産過程に必要な情報を収集するための助産技術について説明できる。</li> <li>4) 産褥・新生児期の正常経過とその逸脱の判断に必要な知識・情報を分析・解釈・統合し、診断する方法について説明できる。</li> <li>5) 助産診断に基づき、計画・立案する方法を説明できる。</li> <li>6) 褥婦と新生児、その家族に必要な助産技術について説明できる。</li> </ol>
授業概要	褥婦・新生児の健康状態と産褥経過の助産診断、褥婦・新生児の援助技術を理解し、適切な助産診断と助産技術を実践できる基礎的能力を養う。
授業内容	第1回 産褥期の生理 第2回 産褥期の心理・社会的変化 第3回 産褥期の異常・偶発疾患 第4回 新生児の生理：生後24時間後～1週間 第5回 産褥期・新生児期の助産診断 第6回 事例を用いた助産過程の展開 } 産褥期・新生児期の基礎的助産技術 第15回
教科書・参考書等	教科書：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ 分娩期・産褥期，医学書院 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ 新生児期・乳幼児期，医学書院 参考書：荒木勤，最新産科学 正常編，文光堂 荒木勤，最新産科学 異常編，文光堂 *授業内で適宜紹介する。
成績評価基準・方法	筆記試験 70%、レポート 30%
履修要件	なし
留意事項・その他	看護基礎教育で学んだ知識が基本になっています。事前学習を行い、授業に臨んで下さい。